

## 和の文化を調べて発表しよう

～情報カードを使って、まとめよう～

5年 国語  
「和の文化を受けつぐ」  
利用指導・資料の活用

### ねらい

- 情報カードに調べたい内容をまとめるとともに、伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明することができる。
- 複数の本や資料を、目的を意識して読むことができる。

### 学 習 展 開 . . . . .

- ① 和の文化にはどのようなものがあるかということを中心にみんなで発表し合い、その中から自分が調べてみたいと思うものを選ぶ。
- ② 観点は2つにしぼる。全員共通の観点は「〇〇の歴史について」。もう1つは「〇〇を支える人々」か「〇〇と他の文化との関わり」のどちらかを選ぶ。
- ③ 情報カードに調べたことの要点をまとめたり、箇条書きで書き込んだりする。
- ④ 情報カードを整理して、発表内容をノートにまとめ、発表する。



本を調べ、情報カードにまとめる



手作り年表を活用した発表

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は図書館にある関連資料の選定を行う。
- 学校にある資料だけでは少ないので、学校司書は他の図書館や学校から関連資料を借りる。
- 司書教諭はそれらの資料がいつでも調べられるように、ラックに入れて教室に置いておく。
- 学校司書と司書教諭は、児童が調べたいものがどの本に載っているかを伝え、支援する。

### ★指導のポイント

- ◆ 引用・要約の仕方についての説明、出典の明記などは、年度当初に学習しているが、復習として再確認しておく。
- ◆ ノートにまとめる際には、前単元で学習した、序論・本論・結論をはっきりさせる。
- ◆ 発表では、相手にわかりやすく伝えるために、拡大写真や手作り資料を準備させる。

### 資料

「日本の職人 伝統のワザ」シリーズ、「くらしのなかの伝統文化」シリーズ、「日本の生活道具百科」シリーズ、「日本と世界のくらし」シリーズ、「紙の大研究」シリーズ、「伝統工芸」、「お茶の大研究」、「きせつの図鑑」、「四季のくらし絵教本」他